

令和7年度

学校(自己)評価報告書

岩見沢市立上幌向中学校

学校名	岩見沢市立上幌向中学校							
校長名	小林 広				教職員数		17名	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合 計
学級数	1	1	1				2	5
児童生徒数	25	20	21				6	72
住 所	岩見沢市上幌向北1条4丁目745番地8							
電 話	0126-26-2962							
FAX	0126-26-2085							
URL	https://www.city.iwamizawa.hokkido.jp/soshiki/kamihoromuicgakko/4418.htm							
e-mail	kamihoromuic@edu.hamanasu.com							

I 学校教育目標

『五稜の精神』

- 「勉学」「創造」 ～ 確かな知性を身に付けよう 【知】
「誠実」「努力」 ～ 豊かな感性を養おう 【徳】
「健康」 ～ 健やかな心身を育もう 【体】

II 中期及び単年度の具体的目標

1 授業づくり【知】

- (1) 「身に付ける資質・能力」と「指導と評価の一体化」が明確な日常授業の実践
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実した授業実践と校内研修の推進
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりの実践：生徒が主体的に学習に取り組むためのスキル(問題解決能力や批判的思考など)の育成、教科等横断的に言語能力・情報活用能力・課題発見解決能力を高める取組の推進

2 集団づくり【徳】【体】

- (1) 支持的・親和的学級風土(安心・安全な風土)の醸成
- (2) 生徒が自分の良さを発見し、内発的な意欲を引き出す「考え議論する道徳」授業の実践
- (3) 岩見沢型ピア・サポート[MLA]の実践の充実：社会性と情動の学習(SEL)・ポジティブな行動支援(PBIS)の実践、学びのユニバーサルデザイン(UDL)を基盤とした授業設計と実践等

3 「信頼と期待に応える」学校づくり

- (1) 目的達成型の協働型組織構築により、教職員にとってやりがいのある教育活動の推進
- (2) 「授業時数特例校制度」等を活用した特色ある教育課程の実施
- 4 「開かれた」学校づくり【地学協働】
 - (1) 上幌向CAの「目指す子ども像」を実現する取組の推進
 - (2) 9年間を見据えた学力向上策の検討、協議(小中合同研修のさらなる推進等)
- 5 土台となる取組：学級・学校・職場・地域の心理的安全性の確保

Ⅲ 各種具体的な計画

- 1 授業改善（新しい時代に対応できる力の育成）
 - (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、教師主導から学習者主体による授業の転換
 - (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりの実践
 - (3) ICTの効果的な活用と情報活用能力を高める教育の推進
 - (4) 目に見える学力のいっそうの向上
- 2 支持的・親和的学級風土づくり（安心・安全な風土の醸成）
 - (1) 岩見沢型ピア・サポート(MLA)の実践の充実
 - (2) 「考え議論する道徳」の授業の実践
 - (3) 発達支持的生徒指導の推進
 - (4) Hyper Q-u と Assess の年2回実施と分析による支援の改善
 - (5) 教育相談の計画的実施と充実
 - (6) 新体力テストによる体力の実態把握と体力向上の取組（1校1実践）、9カ年を見通した運動の習慣化
 - (7) 全国学力・学習状況調査を踏まえた「望ましい生活・学習習慣」を育む取組の推進
 - (8) 自らの判断で命を守ることができる力を育成する健康・安全教育の推進
- 3 組織的學校運営と「働き方改革」
 - (1) 目的達成型の分掌組織の充実・改善による職員1人1人の当事者意識の醸成
 - (2) 「企画委員会」「拡大企画委員会」の機能化
 - (3) 各担当の裁量権拡大
 - (4) 教育活動の精選
- 4 コミュニティ・エリアを基盤とした地域連携・小中連携の推進
 - (1) 小中学校の円滑な接続に向けて「めざす子ども像」を共有
 - (2) 探究型授業をベースとした上幌向中学校区の授業づくりの研究

- (3) 学校だより・授業参観・学校行事等の機会を通して、学校経営ビジョンの浸透及び成果と課題を明確にするとともに学校運営協議会（コミュニティ・エリア）の助言を参考にしての経営改善
- (4) 学びの連続性を実現する校種間連携及び社会教育や社会体育等の関係団体と連携を図り、生徒の健全育成を目指した指導を推進
- (5) 岩見沢市の教育施策に基づき、小中一貫教育を念頭においた連携

IV 各種評価結果と改善策

令和7年度 上幌向中学校 学校評価アンケート結果の分析と考察

学校評価 保護者アンケート		R7	R6	学校評価 生徒アンケート		R7	R6
1	お子様は、毎日楽しく学校に通っていると感じますか。	88.2	91.1	1	学校生活は楽しいと感じていますか。	91.4	85.5
2	学校は、アンケートや相談活動など、悩み事への対応やいじめのない学校づくりをしていると感じますか。	88.3	82.1	2	学校は、アンケートや相談活動など、悩み事への対応やいじめのない学校づくりをしていると感じますか。	96.6	92.7
3	学校は、説明がわかりやすく生徒が主体的に活動する授業づくりをしていると感じますか。	90.2	85.7	3	学校は、説明がわかりやすく生徒が主体的に活動する授業づくりをしていると感じますか。	100	96.4
4	学校は、学校だより・学級通信・ブログなどで学校の様子を伝え、保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいると感じますか。	98.0	92.9	4	学校は、学校だより・学級通信・ブログなどで学校の様子を伝え、保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいると感じますか。	98.3	96.4
5	学校は、生徒一人一人が受け入れられる居心地のよい場所になっていると感じますか。	80.4	89.3	5	学級(クラス)は、生徒一人一人が受け入れられる居心地のよい場所になっていると感じますか。	96.6	94.5
6	お子様は、学校の授業以外に習習(月曜日から金曜日)、勉強をしていますか。(習習学習、塾や家庭教師、ネットでの学習等も含みます)	72.6	58.9	6	あなたは、地域の行事やボランティア活動など、地域の人と関わる活動に参加したことがありますか。	74.2	
7	お子様は、学校行事や生徒会活動に意欲的に参加していると感じますか。	94.1		7	あなたは、学校行事(五校祭、体育大会など)や生徒会活動に、意欲的に参加していますか。	94.5	
8	お子様は、朝食を毎日食べていますか。	94.1		8	あなたは、自分によいところがあると感じていますか。	87.9	
9	お子様の、寝る時刻と起る時刻は、ほぼ一定していますか。	82.4		9	あなたは、学校で決められたルールや社会のきまりを守って、行動していますか。	100	
10	お子様は、学校で学んだことを家庭で動かし、生活の中で役立てたりしていると感じますか。	90.2		10	あなたは、学校で学んだことを家の人に動かし、生活の中で役立てたりしていますか。	81.0	
11	お子様が自由に使える、インターネットにつながっている、スマホ・タブレット・パソコン・ゲーム機等はありますか。	96.1		11	インターネットにつながっているスマホ・タブレット・ゲーム機など、家財との共有も兼ねて自分が使えるPCや端末を持っていますか。	100	
12	【上で「ある」と回答した方のみ】ネットにつながっている、スマホ・タブレット・ゲーム機等の使い方のルールは決まっていますか。	81.6		12	【上で「ある」と答えた人のみ】持っている人は使い方についておうちの人とルールを決めていますか。	77.6	

学校評価 教職員アンケート		R7	上位
【I. 授業改善・学力向上】 授業づくり			
1	学校経営方針を理解し、教育活動に前向きな姿勢を持って取り組んでいる。	100	66.7
2	生徒が主体的に活動する授業づくりを意欲している。	100	66.7
3	生徒が自ら問いを見つけ、主体的に解決しようとする力を育む授業改善に取り組んでいる。	73.3	53.3
4	学力調査(全国学力・学習状況調査、NRT等)の結果を分析し、授業改善に具体的に生かしている。	86.7	60
【II. 生徒指導・学級経営】 集団づくり			
5	生徒一人ひとりが安心して自分を表現できる、心理的に安全な学級・学校環境づくりに努めている。	100	73.3
6	特別支援教育に関する知識・理解を深め、子どもの多様性や適応状況を踏まえた適切な指導ができている。	93.4	53.3
7	児童相談員(A・サポート(MIA))の考え方を、生徒指導や授業に生かしている。	86.7	33.3
8	QJやAssessなどのアンケート結果を科学的に分析し、生徒理解と支援に活用している。	93.4	46.7
【III. 地域・連携・新課程】 精かれた学校づくり			
9	隣小との連携や学校運営協議会での協議内容を重視し、教育活動に生かしている。	86.7	40
10	学校全体の課題を「自分ごと」として捉え、学年や分掌の壁を超えて協働して解決に取り組んでいる。	100	60
11	学校だよりやブログ等を通じて、教育活動を保護者や地域に積極的に発信し、理解と協力を得る努力をしている。	93.4	66.7
【IV. 職場環境・働き方】 学校組織づくり			
12	お互いを尊重し、経験や立場に関わらず建設的な意見を安心して交わせる職場環境がある。	100	60
13	教育活動全般に対して、やりがい・働きがいを感じている。	100	53.3

1. 総括

アンケート結果全体をみわたすと、生徒・保護者・教職員の三者ともに学校生活や教育活動に対する満足度が高いことがわかる。特に、「授業のわかりやすさ・楽しさ」「学校・学級の居心地の良さ」「学校からの情報発信」については、肯定的な回答が90%を超える項目が多く、学校経営の重点が着実に実践されていることがわかる。

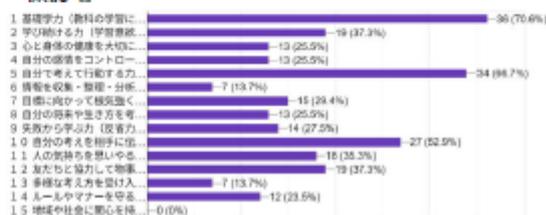
一方で、「家庭学習の習慣化」や、自由記述で指摘された「個別の事案への対応」については課題も見られる。高い満足度を維持しつつ、これらの課題に丁寧に取り組むことが、学校教育目標の実現と、めざす生徒像「思いやりと主体性を持つ生徒」の育成に繋がる。

2. 重点項目別の分析と考察

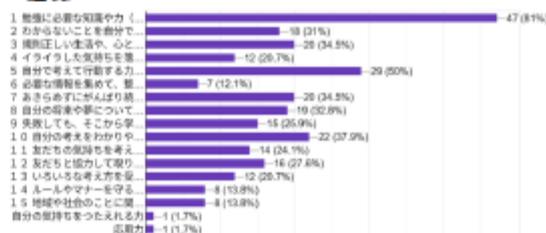
【重点1】授業づくり【知】

関連設問	肯定的な回答
生徒 Q1	91.4%
生徒 Q3	100%
保護者 質問 1.	88.2%
保護者 質問 3.	72.6%
教職員 Q2	100%

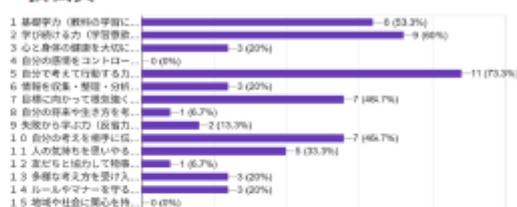
保護者



生徒



教職員



【評価できる点(強み)】

- ・ 授業満足度の高さが際立っている:生徒の回答で「授業がわかりやすく主体的」が100%という結果は、教職員の授業改善への努力が実を結んでいることを示している。これが「学校が楽しい」という高い肯定率に直結していると考えられる。
- ・ 三者間の高い評価の一致:生徒、保護者、教職員ともに授業や学習環境に対して高い評価をしており、学校の教育方針が共有・理解されている様子がうかがえる。

【課題と考察】

- ・ 家庭学習への接続:保護者アンケート Q3「授業以外での学習」では、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の合計が9.8%あり、他の項目に比べてやや低い結果です。授業の満足度が高い一方で、その学びを家庭での主体的な学習に繋げる点に伸びしろがある。「塾や家庭教師」も含めた質問であるため、学校での学習で完結していると捉えることもできるが、自ら学ぶ力の育成という観点からは、家庭学習の動機づけや方法について、今後サポートしていくことが必要。

【重点2】集団づくり【徳】【体】と土台となる「心理的安全性の確保」

関連設問	肯定的な回答
生徒 Q2.	96.6%
生徒 Q5.	96.6%
保護者 質問2	88.3%
保護者 質問5	80.4%(わからない13.7%)
教職員 Q5.	100%

【評価できる点(強み)】

- ・ 極めて高い心理的安全性:生徒の回答で「いじめのない学校づくり」「学級の居心地の良さ」がいずれも96.6%と高く、生徒が安心して学校生活を送れる環境が構築されている。少人数校の良さが最大限に活かされ、生徒同士、また生徒と教員の良好な関係が築かれていると言える。

【課題と考察】

- ・ 個別の事案における対応の質の担保:自由記述において、保護者から「変なあだ名で呼ばれている子への対応」について、深刻な懸念が示された。アンケートの全体数値が高い中でも、個別の事案に対して生徒や保護者が納得できる対応ができていないケースがあることを重く受け止める必要がある。「なぜいけないのか」を根気よく教えるという指摘は、本校が目指す教育の核心。全教職員でこの事例を共有し、対応の方針や理念について再確認する研修が必要。
- ・ 生徒の「もっと」に応える活動:生徒の自由記述には「他学年との交流を増やしたい」という前向きな要望が見られる。現在の良好な人間関係を土台に、生徒会活動などを通じて、さらに生徒が主体的に異学年交流を企画・運営できるような働きかけが必要。

【重点3】「開かれた」学校づくり【地学協働】

関連設問	肯定的な回答
生徒 Q4.	98.3%
保護者 質問8	98.0%
教職員 Q11	93.4%

【評価できる点(強み)】

- ・ 情報発信への絶大な信頼:「学校だより・ブログ」などを通じた情報発信は、生徒・保護者から98%を超える支持を得ている。保護者の自由記述にも「ブログを楽しく拝見している」「学校の様子を知ることが安心に繋がる」といった声があり、学校の透明性を高め、信頼関係を構築する上で役割を果たしている。

【課題と考察】

- ・ 保護者・地域の「協力」を「協働」へ:現在の良好な関係を基盤に、保護者や地域がさらに学校運営に参画できるような仕組み(学校運営協議会との連携強化など)を模索していく段階にある。例えば、自由記述にあった「自転車の危ない乗り方」といった地域の課題について、学校・家庭・地域が一体となって指導にあたるなど、「地学協働」の具体的なアクションに繋げていくことが必要。

3. 自由記述に見る特徴的な意見と今後の方向性

【感謝と期待の声】

- ・ 先生方が一人一人向き合ってくれる「少人数ならではの細やかな配慮」など、小規模校のメリットを活かした教育への感謝の声が寄せられた。これは教職員の大きな励みとなる。
- ・ 「バスケット部を作ってほしい」といった具体的な要望は、生徒の学校生活への期待の表れであり、可能な範囲で応える努力をすることが必要。

【具体的な改善要望】

- ・ いじめへの対応：前述の通り、重要課題として捉え、全教職員で対応方針を再確認し、保護者への説明責任を果たす。
- ・ 交通安全指導：自転車の乗り方について具体的な指摘があった。地域の安全に関わる問題として、警察や関係機関とも連携し、次年度に向け全校で指導を徹底していく。

4. まとめと今後の方針

①【優先】個別事案への対応力強化

- ・ 全教職員を対象とした「いじめ・人権に関する対応研修」を実施し、事例研究を通じて対応スキルを標準化する。
- ・ 保護者からの相談・指摘に対する報告・連絡・相談のプロセスを再徹底し、組織として対応する体制を強化する。

②【推進】家庭学習の質の向上

- ・ 授業の終わりに家庭学習に繋がる「問い」を提示するなど、生徒の知的好奇心を刺激する工夫を行う。

③【展開】生徒主体の活動活性化

- ・ 生徒会が中心となり、異学年交流イベントの企画・運営をさらに推進する。教員はファシリテーターとしてサポートに徹し、生徒の主体性を育む。

育成すべき資質・能力の優先順位付けと、その根拠

1. 三者のアンケート結果に見る「身に付けてほしい力」の比較分析

まず、生徒・保護者・教職員が「身に付けてほしい」と回答した資質・能力のトップ 5 を比較し、三者の願いの共通点と特徴を把握。

順	生徒の願い	保護者の願い	教職員の視点
1	①基礎学力 81%	①基礎学力 70.6%	⑤自分で考えて行動する力 73.3%
2	⑤自分で考えて行動する力 50%	⑤自分で考えて行動する力 66.7%	②学び続ける力 60%
3	⑩自分の考えを相手に伝える力 37.9%	⑩自分の考えを相手に伝える力 52.9%	①基礎学力 53.3%
4	③心と身体の健康を維持する力 34.5%	⑩協力して物事に取り組む力 37.3%	⑦根気強く努力し続ける力 46.7%
5	⑦根気強く努力し続ける力 34.5%	②学び続ける力 37.3%	⑩自分の考えを相手に伝える力 46.7%

【分析から見えること】

【共通認識】

- ・ 「①基礎学力」と「⑤自分で考えて行動する力(主体性・自律性)」は、三者すべてがトップ 3 に挙げており、学校教育の核として取り組むべき最要項目である。
- ・ 「⑩自分の考えを相手に伝える力(コミュニケーション力・表現力)」も三者すべてトップ 5 に挙げている。

【それぞれの視点】:

- ・ 生徒・保護者は、日々の学習や社会生活に直結する「基礎学力」を重視。
- ・ 教職員は、専門的視点から、知識そのものよりも、自ら学び行動する「主体性」や「粘り強く学ぶ力」を重視。
- ・ 保護者は「⑩協働力」を重視しており、社会性や人間関係を育ててほしいという願いがある。

2. 学校評価全体の分析結果との関連

次に、上記のアンケート結果を、学校全体の「強み」と「課題」に照らし合わせて、育成すべき力の必要性を確認。

【強み】心理的安全性が高く、授業満足度が高い

- ・ この土台があるからこそ、生徒は安心して「⑩自分の考えを伝える」練習ができ、「⑨失敗から学ぶ」ことができます。この強みを活かして、挑戦を促す教育活動を展開すべき。

【課題①】家庭学習への接続

- ・ 「授業が分かりやすい」で終わらず、家庭で自ら学びを進めるには、「⑤自分で考えて行動する力(主体性)」と「②学び続ける力(探究心)」が不可欠。この課題を克服するために、これらの力の育成は急務。

【課題②】個別の事案(いじめ等)への対応

- ・ 自由記述にあった「あだ名」の問題は、学校全体として「⑪人の気持ちを思いやる力(共感力)」や「③多様な考え方を受け入れる力」をさらに深く育成する必要があることを示唆している。アンケートの選択率以上に、教育活動全体で重視すべき項目。

今後育成すべき 9 つの資質・能力(優先順位順)

以上の分析に基づき、育成すべき資質・能力を「A:学びの土台となる力」「B:他者と関わり社会で生きる力」「C:自己を見つめ未来を拓く力」の 3 つのグループに分け、9 つを優先順位付け。

A:学びの土台となる力(最優先グループ)

全教科・全活動の基盤であり、三者のニーズが最も高い力。

1. 自分で考えて行動する力(主体性・自律性)

根拠: 三者全員が最上位に選択。また、課題である「家庭学習への接続」を解決し、生徒が「未知の自分に挑戦」するための原動力となる。

2. 基礎学力(知識・技能)

根拠: 生徒・保護者のニーズが圧倒的に高い。高い授業満足度という強みを活かし、思考力・判断力の土台となる知識・技能を確実に定着させるため。

3. 学び続ける力(学習意欲・探究心)

根拠: 教職員が専門的視点から強く必要性を認識。基礎学力を活用し、自ら問いを立てて学びを深めていく力は、変化の激しい時代を生き抜く上で必須となるため。

B:他者と関わり社会で生きる力(準優先グループ)

強みである「心理的安全性」を活かして伸ばし、課題解決にも繋がる力。

4. 自分の考えを相手に伝える力(コミュニケーション・表現力)

根拠: 三者ともにニーズが高い。良好な人間関係の中で、自分の意見を適切に表現し、他者と建設的な対話を行う経験を積ませるため。

5. 人の気持ちを思いやる力(共感力)

根拠: 自由記述の課題から、その重要性が浮き彫りになった。選択率以上に優先度が高いと判断。安心・安全な学校文化を維持・発展させる根幹となるため。

6. 友だちと協力して物事に取り組む力(協働力)

根拠: 保護者・生徒からのニーズが高い。多様な他者と目標を共有し、それぞれの強みを活かして課題解決に取り組む力は、社会で不可欠なため。

C:自己を見つめ未来を拓く力(育成重点グループ)

主体性や協働性を、自己の成長と将来の自己実現に繋げるための力。

7. 目標に向かって根気強く努力し続ける力(粘り強さ・向上心)

根拠: 教職員が重視。容易に答えが出ない問いにも粘り強く向き合い、挑戦し続ける経験を通じて、自己肯定感と達成感を育むため。

8. 失敗から学ぶ力(反省力・改善力)

9. 自分の将来や生き方を考える力(キャリア意識)

まとめ

この 9 つの資質・能力は、互いに関連し合っています。例えば、「基礎学力」を土台に「主体性」を発揮し、仲間と「協働」しながら「自分の考えを伝え」、時には「失敗から学び」ながら「目標に向かって努力する」という一連の学習活動が考えられる。

今後は、この 9 つの力を学校教育目標と関連付け、具体的な教科指導、総合的な学習の時間、特別活動、生徒会活動等に落とし込んでいくことが重要となる。

V 学校関係者評価を受けての改善策等

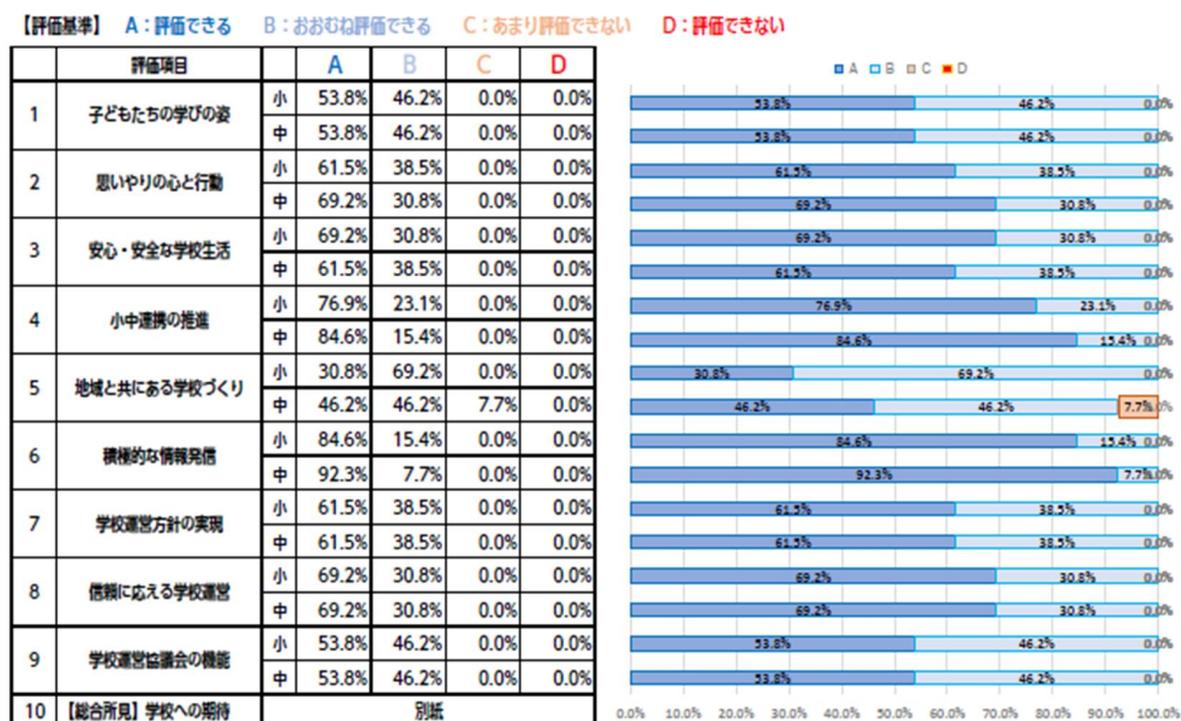
1 学校関係者評価の集計結果

【評価項目】

【評価基準】 A：評価できる B：おおむね評価できる C：あまり評価できない D：評価できない

評価項目	評価の観点(質問文)	小		中		コメント(両校共通、または個別にご記入ください)
		A	B	A	B	
1	子どもたちの学びの姿 子どもたちは、授業や学校生活で自分の考えを持ち、主体的に学習に取り組んでいると評価できますか。(例：発表や話し合いへの参加)	A C	B D	A C	B D	
2	思いやりの心と行動 学校生活の様々な場面で、子どもたちがお互いを尊重し、思いやりのある言動をとる姿があると評価できますか。(例：励まし、ピア・サポート活動等)	A C	B D	A C	B D	
3	安心・安全な学校生活 学校は、子どもたちが安心して過ごせる、いじめを許さない安全な環境づくりに取り組んでいると評価できますか。	A C	B D	A C	B D	
4	小中連携の推進 第二小学校と上幌向中学校は、9年間を見通した「めざす子ども」の共有や交流活動などを通して、円滑な連携を図っていると評価できますか。	A C	B D	A C	B D	
5	地域と共にある学校づくり 学校は、地域行事への参加や地域人材の活用などを通して、地域社会の一員としての子どもを育てる取り組みを進めていると評価できますか。	A C	B D	A C	B D	
6	積極的な情報発信 学校は、学校だよりやブログなどを通して、教育活動の様子や子どもたちの姿を、保護者や地域に分かりやすく積極的に発信していると感じますか。	A C	B D	A C	B D	
7	学校運営方針の実現 学校は、学校経営方針やグランドデザインに沿って、教職員が丸くなって組織的に取り組んでいると評価できますか。	A C	B D	A C	B D	
8	信頼に応える学校運営 学校は、保護者や地域の意見を尊重し、信頼に応える学校運営を行っていると感じますか。	A C	B D	A C	B D	
9	学校運営協議会の機能 学校運営協議会での意見や提案が、両校の学校運営の改善に反省されていると感じますか。	A C	B D	A C	B D	
10	【総合所見】学校への期待 今後、子どもたちの未来のために学校に期待することさらに良くするためのアイデア、応援メッセージなどがございましたら、ご自由にお書きください。					

【評価結果 数値】



【評価結果 記述】

	項目	評価の観点 (質問文)	感想・意見
1	子どもたちの学びの姿	<p>子どもたちは、授業や学校生活で自分の考えを持ち、主体的に学習に取り組んでいると評価できますか。</p> <p>(例：発表や話し合いへの参加)</p>	<p>感想・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 歌声集会では「感想を発表したい人？」の問いかけに、たくさんの児童が手を挙げ自分の言葉で発表していました。高学年になると内容が被らないよう言葉を選び、お互いの意見を尊重するような場面もみられました。大勢の人がいるなかで、堂々と発表する姿を見て、普段から自分の気持ちや考えをみんなに伝えられるように環境づくりをされているのだと感じました。 ・小学校 学習発表会での様子は素晴らしいものでした。 ・中学校では、特に放課後学習や検定を受ける生徒さんが多く(実際多いかわからないですが)いることから。 ・中学校 個々の意見はしっかりあるのに、進んで発表する生徒は少ないように思います。中学生(思春期)なのである程度仕方のないこととは思いますが、自分の考えを進んで発言できるようになってほしいです。 ・中学校は放課後学習の出席率の高さから、主体性が十分に窺えます。 ・授業改善により、問題発見解決型の授業が行われ、問題を自分事として捉えることで、話し合い活動発表の機会が増え、主体的な学びになっていると思います。
2	思いやりの心と行動	<p>学校生活の様々な場面で、子どもたちがお互いを尊重し、思いやりのある言動をとる姿があると評価できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の子どもたちの様子から、相手に対して思いやりを持って接する姿が見られます。特に、他学年と交流を行うピア・サポートでは、上級生が下級生に対して優しく温かく接する姿が見られました。 ・友だちと仲良く遊ぶ様子をいろいろな場面で見っていました。コロナ禍以降、また交流が増えてきた実感しています。 ・参観などではみんな仲良く、協力し合っている印象があります。町会の行事(世代間交流)やボランティア(スカイロード清掃)などで交流する子どもたちも、みんな優しく協力的で、思いやりの気持ちを持って接してくれます。学校は「いいとこみつけ」やピア・サポートなど、相手の気持ちを考えること、相手の良いところを見つけられることなど心の教育に力を入れていると思います。 ・運動会、記録会、学習発表会等を通じて、子どもたちがお互いを尊重し、思いやりある行動をとる姿を見させていただきました。

3	安心・安全な学校生活	<p>学校は、子どもたちが安心して過ごせる、いじめを許さない安全な環境づくりに取り組んでいると評価できますか。</p>	<p>・小学校低学年の子どもたちの表情が明るく楽しそうで安心しています。・子ども同士でのトラブルへの介入や保護者の方への連絡等によっていじめを未然に防ぐことができているのではないかと思います。・「いじめ」は、相手の受け止め方でも異なった認識となる。でもアンケートなどで探知してくださっており、今後も安心できる環境づくりをお願いします。・「嫌な思いをしたらいじめ」なので、いじめという概念は絶対になくならないものと個人的には思っています。学校や家庭でできることは、相談しやすい環境づくりと解決に向けて一緒に考えていくことだと思います。学校はいじめに関するアンケート結果や、これを踏まえての取り組みなどをお便りに掲載し周知を図ると同時に、様々な人と接する機会を設け、視野を広げられるような環境づくりにも努めていると感じます。・「いじめ」は大人の社会でもあるように、どこでも起こりえます。なぜ、いじめが起こるのか、子どもたちとみんなでレクチャー&話し合う場みたいなものと良いのかなと思います。</p>
4	小中連携の推進	<p>第二小学校と上幌向中学校は、9年間を見通した「めざす子ども像」の共有や交流活動などを通して、円滑な連携を図っていると評価できますか。</p>	<p>・高学年の中学校訪問、歌声交流会、クリーン作戦、学習サポートなど子どもたちが交流する機会があること。サポートしてもらっていた側が、サポートしていく側へと成長していく過程が経験できることはとても良いと思います。</p> <p>・中学校の合唱を聴いて、感動されている小学生がたくさんいる様子がありました。</p> <p>・小学校からはぼ持ち上がりの状態で中学校へ行くため、小中合同の取り組みでの交流(歌声集会など)や小中の「目指す子ども像」が共有されて、つながりが意識されていると思います。</p> <p>・9年間の成長の様子をブログなどで観ることができ、小中の積み重ねがよくされていると感じます。</p>
5	地域と共にある学校づくり	<p>学校は、地域行事への参加や地域人材の活用などを通して、地域社会の一員としての子どもを育てる取り組みを進めると評価できますか。</p>	<p>・田植えや稲刈り体験など地域特性を生かした取り組み、コミュニティ市など地域と学校が交流する場を続けていることはとても良いことと思います。ただ、コミュニティ市などはどうしても大人が主体になってしまうため、子どもたちが活躍(協力)できる環境でもよいのかなと考えます。(地域やPTAとも一緒に考えていくことなのですが…)また、健全育成連絡協議会など地域と学校との情報が共有される組織があることも評価できると思います。</p> <p>・クリーン作戦やコミュニティ市をはじめとして、地域の方々と子どもと大人が共に活動し、子どもを育てる取り組みを行っていると思います。学校以上に生き生きと子どもたちが活動していると思います。</p> <p>・中学校：学校評価の教職員と保護者が生徒に身に付けたい力の「地域と社会に関心を持つ力」が0%となっている。残念。</p> <p>・会でも以前に言われていましたが、高校以降の子どもたちの進路が多岐にわたっており、地域の若手が残りにくい。魅力ある地域を今後目指していけたらと思います。</p>

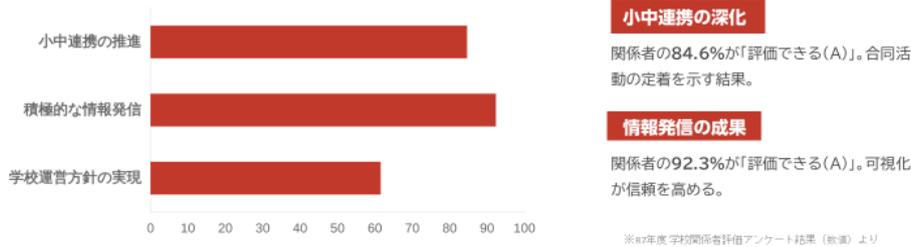
6	積極的な情報発信	<p>学校は、学校だよりやブログなどを通して、教育活動の様子や子どもたちの姿を、保護者や地域に分かりやすく積極的に発信していると評価できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は多忙でありながらも情報発信に力をいれていると思います。ブログを読み子どもたちの様子を知れることが安心へと繋がっています。 ・ブログ大変楽しみにしています。(コラムも興味深く読ませてもらっています)先生方には、ご負担かと存じますが、是非続けて頂けるとうれしいです。 ・両校の学校だよりは、毎月楽しみにしている地域の方が多数います。 ・小中学校の両方で、学校だよりやブログによる情報発信について、保護者の方より肯定的な意見を頂けているため、評価できると思います。 ・小学校の様子が中学校より少ない。学年が多岐になるのもあるが、見て子どもたちの生活を実感したい。
7	学校運営方針の実現	<p>学校は、学校経営方針やグラウンドデザインに沿って、教職員が一丸となって組織的に取り組んでいると評価できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒のアンケート結果をみると、授業がわかりやすい、学校が楽しいなど肯定的な意見です。学校訪問を通じての授業参観や学校祭、運動会、学習発表会などでは、仲間と協力して取り組む姿、練習の成果、時間内にうまくプレゼンする様子など、子どもたちが頑張っているところをたくさん目にしました。主体は子どもであると先生方の共通意識も窺えました。 ・小中共に校長を中心に、充分信頼に込めていると思います。 ・学校経営方針やグラウンドデザインの細やかな変更でも全教職員へ周知がされているため、一丸となって組織的に取り組んでいると評価します。 ・研究会をはじめ、地域の子どものために尽力くださり感謝しています。
8	信頼に応える学校運営	<p>学校は、保護者や地域の意見を尊重し、信頼に応える学校運営を行っていると感じますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な考え方があり全てにおいては難しいところです。お互いの思いは伝わらないかもしれませんが、どのような場面でも向き合うことが大切だと思います。学校はいつでも相談しやすい仕組みになっており、保護者や地域と向き合っていると思います。 ・PTA内であがった意見については、尊重して頂けていると強く思います。ですが、今回保護者からアンケートで声がいろいろとあがったような、役員以外の声にもコメント以外でも対応して頂けることを信じています。 ・保護者や地域の意見が全て通るではないですが、どの方からの意見も吸い上げて、より良い学校運営を行っているのではないかと思います。 ・保護者の声によく耳を傾けてくださり、ありがとうございます。
9	学校運営協議会機能	<p>学校運営協議会での意見や提案が、両校の学校運営の改善に反省されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 活動でも意見はすぐに反映されました。できることできないことについては話し合いの中で解決し、どの組織も意見や提案はしやすい環境であり、意見を尊重してくれていると感じます。 ・地域の見守りや自転車の危険な乗り方など、地域の課題などとしてあげられた事案に対して、実際に活動が行われているため、反省されていると思います。 ・意見をすくい上げてくださり、また話し合いしやすい会と感じています。

		と感じますか。	
10	【総合所見】 学校への期待	<p>今後、子どもたちの未来のために学校に期待することさらに良くするためのアイデア、応援メッセージなどがございましたら、ご自由にお書きください。</p>	<p>・ 小規模校ならではの良さを生かし先生方の手厚い教育を受けられていること、地域として保護者として大変感謝しております。これからも変わらず、先生方の知識や経験を子どもたちに伝えていってほしいです。</p> <p>余談ですが、中学校の評価アンケート質問13の結果で、保護者と先生との見解が分かれている部分があり大変興味深かったです。保護者が思っている以上に生徒は学校では努力しているのかもしれませんが。</p> <p>・ 小さいじめ(悪口)が、ごじれて大きなじめになる前に、対応しておられることと思います。先生方は、アンテナをはりつづけなくてはならないでしょうから、心も身体も相当なご負担があるとお察しします。いつもありがとうございます。</p> <p>先生方の心と身体も大切になさってくださいね。</p> <p>・ 「大器晩成」 自分の能力を発揮する時期はそれぞれです。種まきをし、肥料を与え、じっくり育てていただきたいと思います。</p> <p>・ 地域が一体となって、子どもたちを温かく見守ることで、安心・安全な暮らしが保障され、学校生活を送ることができていると思います。教職員としてだけでなく、地域の大人としても子どもの成長を見守り、尽力したいと思います。</p> <p>・ 倫理、人として正しい道への指導願います。</p> <p>・ 人として変えてはいけない価値観・尊重しなければならない事を子どもたちが体験できる場を提供できると良いと思います。基本的に家庭の責任が100%ですが、町会も世代間交流などで場を設定できると良いと思います。</p> <p>・ 地域の子どもの様子は、外遊びや登下校で目にしていますが、一人ひとりの「がんばり」を知るのは学校からの発信が大きいです。これからも子どもたちの良さをたくさん伝えてください。</p> <p>・ 上幌向中は、文化部・運動部ともにもう一つぐらい部活の選択肢があると良いかなと思います。</p> <p>・ 第二小は、体育館の照明をLEDにしてあげると、明るくなり、様々な面でプラスになると思います。</p>

2 学校関係者評価を受けて

熟議の取組： 成果①

小中連携の推進は84.6%が「評価できる」とA回答



小中連携の深化

関係者の84.6%が「評価できる(A)」。合同活動の定着を示す結果。

情報発信の成果

関係者の92.3%が「評価できる(A)」。可視化が信頼を高める。

熟議の取組： 成果②

「9年間の積み重ねが見える」地域からの信頼

成長の可視化

「ブログで9年間の成長が見え、小中の積み重ねがよくされているのがわかる」

— 学校評価コメントより

社会性の向上

「中学生が小学生をサポートする側へ成長していく過程が経験できている」

— 学校関係者評価コメントより

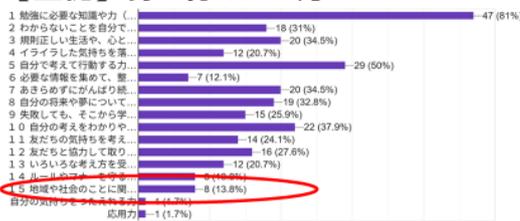
共育の実現

「地域の方々と子どもが共に活動し、子どもを育てる取組が行われている」

— 学校関係者評価コメントより

熟議の取組： 課題 「学校評価 身に付けさせたい力」

【生徒】身に付けたい力



順	生徒の願い	保護者の願い	教職員の視点
1	①基礎学力 81%	①基礎学力 70.6%	①自分で考えて行動する力 73.3%
2	②自分で考えて行動する力 50%	②自分で考えて行動する力 66.7%	②学び続ける力 60%
3	③自分の考えを相手に伝える力 37.9%	③自分の考えを相手に伝える力 52.9%	③基礎学力 53.3%
4	④心と身体の健康を維持する力 34.5%	④協力して物事に取り組む力 37.3%	④根拠強く努力し続ける力 46.7%
5	⑤根拠強く努力し続ける力 34.5%	⑤学び続ける力 37.3%	⑤自分の考えを相手に伝える力 46.7%

【それぞれの視点】

- ・ 生徒・保護者は、日々の学習や社会生活に直結する「基礎学力」を最も重視。
- ・ 教職員は、専門的視点から、知識そのものよりも、自ら学び行動する「主体性」や「粘り強く学ぶ力」を重視。
- ・ 保護者は「応用力」を重視しており、社会性や人間関係を育んでほしいという願いがある。

【保護者】身に付けてほしい力



【教職員】身に付けてほしい力



熟議の取組：課題 「次年度に向けて」

R7の課題：「地域への関心」を次年度の重点活動項目へ

R7年度の課題と反省

学校評価の「地域と社会に関心を持つ力」の評価が、教職員・保護者で0%であった

→R8年度は、子どもが地域行事の「主役」となる場面を増やし、当事者意識の醸成に注力



地域合同活動の深化

町会・町内会への参加をさらに広げ、地域行事への子どもたちの参加を質・量ともに拡大する。



子ども主体の加速

児童会・生徒会が企画段階から関与。大人はサポートに徹し、子どもたちの「やりがい」を形にする。



地域特性の活用

田植え・稲刈りやコミュニティ市など、上幌向地区ならではの体験活動を継続し、郷土愛を育てる。

「地域と共にある学校」のさらなる深化へ



地域合同活動の深化：地域の特色を活かした体験活動の継続と発展



顔の見える学校運営：積極的な情報発信による双方向の信頼関係強化



持続可能な連携：学校運営協議会を核とした未来への投資

VI 資 料

*保護者等への公開資料（次頁以降）

令和7年11月26日発行 学校だより第9号

五稜



【五稜の精神】 確かな知性を身に付けよう【知】 豊かな感性を養おう【徳】 健やかな心身を育もう【体】

【アンケートから見た成果と課題】 校長 小林 広

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度から初めて Google フォームによる学校評価アンケートを実施いたしました。多くの保護者の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。オンラインでの実施により、これまで以上に迅速に、率直で具体的なお意見をお寄せいただくことができました。皆様からの貴重なご意見を全教職員で共有し、安心・安全な集団風土の醸成と家庭学習習慣の定着等、今後の教育活動の更なる充実に活かしてまいります。

年2回の授業アンケートや ASSESS(生徒の生活や学習状況を把握するアンケート)等で生徒の声が反映されていますので、その数値も出しながら学校としての自己評価をしていきます。継続した改善のためにも、ご意見を今後もお寄せください。以下、結果の概要をご報告いたします。

【学校評価保護者・生徒アンケート】 ※数値は「当てはまる」「やや当てはまる」の肯定回答(%)

学校評価 保護者アンケート		R7	R6	学校評価 生徒アンケート		R7	R6
1	お子様は、毎日楽しく学校に通っていると感じますか。	88.2	91.1	1	学校生活は楽しいと感じていますか。	91.4	85.5
2	学校は、アンケートや相談活動など、悩み事への対応やいじめのない学校づくりをしていると感じますか。【わからない9.8%】⇒	88.3	82.1	2	学校は、アンケートや相談活動など、悩み事への対応やいじめのない学校づくりをしていると感じますか。	96.6	92.7
3	学校は、説明がわかりやすく生徒が主体的に活動する授業づくりをしていると感じますか。【わからない7.5%】⇒	90.2	85.7	3	学校は、説明がわかりやすく生徒が主体的に活動する授業づくりをしていると感じますか。	100	96.4
4	学校は、学校だより・学級通信・ブログなどで学校の様子を伝え、保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいると感じますか。	98.0	92.9	4	学校は、学校だより・学級通信・ブログなどで学校の様子を伝え、保護者や地域と協力していると感じますか。	98.3	96.4
5	学校は、生徒一人一人が受け入れられる居心地のよい場所になっていると感じますか。【わからない3.7%】⇒	80.4	89.3	5	学級(クラス)は、生徒一人一人が受け入れられる居心地のよい場所になっていると感じますか。	96.6	94.5
6	お子様は、学校の授業以外に部活(月曜日から金曜日)、勉強をしていますか。【部活は学習、部や家庭訪問、ネットでの学習も含まれます】	72.6	58.9	6	あなたは、地域の行事やボランティア活動など、地域の人と関わる活動に参加したことがありますか。	74.2	
7	お子様は、学校行事や生徒会活動に積極的に参加していると感じますか。	94.1		7	あなたは、学校行事(五稜祭、体育大会など)や生徒会活動に、積極的に参加していますか。	94.5	
8	お子様は、勉強を毎日怠っていませんか。	94.1		8	あなたは、自分によいところがあると感じていますか。	87.9	
9	お子様の、やる気別と寝る時刻は、ほぼ一定していますか。	82.4		9	あなたは、学校で決められたルールや社会のままりを守って、行動していますか。	100	
10	お子様は、学校で学んだことを家庭で教したり、生活の中で役立てたりしていると感じますか。	90.2		10	あなたは、学校で学んだことを親の人に教したり、生活の中で役立てたりしていますか。	81.0	
11	お子様が自由に使える、インターネットにつながっている、スマホ・タブレット/パソコン・ゲーム機はありますか。	96.1		11	インターネットにつながっているスマホ・タブレット・ゲーム機など、家財との共有も兼ねて自分が使えるPCや端末を持っていますか。	100	
12	【上で(ある)と回答した方のみ】ネットにつながっている、スマホ・タブレット・ゲーム機等の使い方のルールは決まっていますか。	81.6		12	【上で(ある)と答えた方のみ】持っている人は使い方についておうちのひととルールを決めていますか。	77.6	

1. アンケート結果の総括

生徒・保護者・教職員の三者ともに、学校生活や教育活動に対する満足度が高いことが確認できました。特に、「授業のわかりやすさ・楽しさ」、「学校・学級の居心地の良さ」については、肯定的な回答が90%を超える項目が多く、学校経営の重点が着実に実践されていることの表れです。

一方で、「家庭学習の習慣化」や、自由記述でご指摘いただいた「個別の事案への対応」については、引き続き真摯に取り組むべき課題であると認識しております。高い満足度を維持しながら、課題に丁寧に取り組むことが、学校教育目標の実現と、めざす生徒像「思いやりと主体性を持つ生徒」の育成に直結すると考えています。

R7. グランドデザイン概要 ⇒

「思いやりと主体性を持つ生徒」

めざす生徒像
 【知】 疑問を持ち、考え抜く生徒
 【徳】 自ら判断し、思いやりのある行動ができる生徒
 【体】 自分の力を最大限に発揮
 【地学協働】 多様な人々と、目標に向けて協働する生徒

授業づくり【知】

・「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり(自由記述で回答された事項)
 ・「身に付ける資質・能力」と「指導と評価の一体化」を明確な目標設定の実践

集団づくり【徳】【体】

・「支持的・協働的学習風土(安心・安全風土)」の醸成
 ・意見交換ピア・セグメント(対人)の実践と充実 等

「信頼と期待が高まる」授業づくり 「開かれた」学校づくり【地学協働】

・信頼関係の醸成、学びの場を共有する授業の実践
 ・「授業の質を高める」ための実践
 ・「授業の質を高める」ための実践
 ・「授業の質を高める」ための実践

土台となる取組：学級・学校・職場・地域の心理的安全性の確保

2. 今年度の重点項目別の分析と考察

(1) 授業づくり【知】～満足度を放課後学習や家庭学習へつなげる～

生徒の「授業がわかりやすく主体的」という回答が100%に達し、これが「学校が楽しい」91.4%という高い肯定回答につながっています。授業アンケートの結果からも、「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」100%、「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」100%といった項目で高い評価を得ています。これは生徒が主体的に、そして仲間と共に学ぶ楽しさを実感していることを示しています。小中合同での公開研究会などの成果が現れていると感じております。



9/11「小中合同道徳研修会」
講師：岐阜聖徳大学教授 山田貞二氏



9/11「小中合同探究活動研修会」
講師：瀬戸 SOLAN 副校長 三宅貴久子氏



11/10「小中合同探究型授業公開研究会」
講師：鳴門教育大学特命教授 藤村裕一氏

課題 高い授業満足度の一方で、「学校の授業時間以外に、普段（月～金）勉強をしていますか」という質問（授業アンケート 20）では、「30分より少ない」または「全くしない」と回答した生徒が16.9%に上ります。ASSESS アンケートでも「勉強について行けないのではないかと不安になる」生徒が47.6%いることから、授業での学びを放課後学習や家庭での主体的な学習につなげ、学習への不安を自信に変えていく支援が求められます。

今後の取組 授業の終わりに家庭学習に繋がる“問い”を提示し「振り返り活動の充実」など、生徒の知的好奇心を刺激し、「自ら学ぶ力」を育むための働きかけを強化していきます。

授業アンケートの結果 R6～R7		全校調査結果		
	質問内容	R6.7月	R6.12月	R7.5月
1	自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していましたか。	84.2%	91.2%	83.1%
2	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいました。	80.0%	96.5%	95.4%
3	授業は、学んだことを生かしながら、自分の考えを求めている活動を行いました。	87.7%	91.3%	87.7%
4	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていました。	79.0%	91.0%	97.0%
5	新しい活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしています。	93.0%	90.0%	95.4%
6	学習した内容を見直し、次の学習につなげることができています。	71.9%	80.0%	83.1%
7	学んだことを、次の学習や家庭生活に結びつけて考えたり、生かしたりできると思う。	82.0%	82.4%	87.7%
8	先生は、分からないところを分かるまで教えてくれていると思う。	87.0%	91.2%	93.9%
9	友達や周りの人の考えを大切にして、協力しながら課題の解決に取り組んでいます。	94.8%	98.3%	100.0%
10	総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて調べ、発表するなどの活動に取り組んでいます。	91.2%	93.0%	87.7%
11	道徳の授業で、考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいます。	93.0%	94.7%	100.0%
12	授業でICT機器などの後援使っていますか。（※ほぼ毎日の場合）	96.5%	98.2%	95.4%
13	ICT機器を活用し、自分のペースで学習を進めることができます。	91.3%	98.3%	95.4%
14	ICT機器を活用し、分からないことをすぐ調べることができます。	96.5%	100.0%	98.4%
15	ICT機器を活用し、楽しみながら学習を進めることができます。	82.4%	91.3%	92.3%
16	音楽や動画、音声等の活用で、学習内容がよく分かる。	96.5%	100.0%	100.0%
17	ICT機器を活用し、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができます。	89.4%	96.5%	100.0%
18	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	98.3%	98.0%	100.0%
19	ICT機器を活用し、友達と協力しながら学習を進めることができます。	94.7%	98.3%	97.0%
22	分からないことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますが。	75.4%	85.9%	80.0%

(20) 学校の授業時間以外に、普段（月～金）平日、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。
66件の回答



(21) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。
66件の回答



(22) 読書をしていますか。（朝読書を含みます。）
66件の回答



(24) 「放課後学習」へはどのくらい参加していますか。
66件の回答





11/7 学習スペースでの「放課後学習」の様子

総合	R4	R5	R6	R7
1年	47.1	52.2	45.1	50.7
2年	49.6	48.9	53.4	47.9
3年	49.0	47.3	47.5	55.0
全体	48.6	49.5	48.7	51.2

R7. NRT 標準学力テストの結果（経年変化、グラフ）



(2) 集団づくり【徳】【体】～心理的安全性を基盤に、個への対応力を高める～

本校では、昨年度より岩見沢型ピア・サポート(MLA)の取組により、生徒たちが互いの違いを認め合い、安心して自分を表現できる温かい雰囲気醸成しつつあります。生徒の「いじめのない学校づくり」「学級の居心地の良さ」の項目で、肯定的な回答が96.6%と高く、生徒が安心して学校生活を送れる環境ができていると感じております。少人数校の良さを最大限に活かし、生徒同士、また生徒と教職員の良好な関係をこれからも築いていきます。



4/18 PBIS ポジティブな行動介入と支援



4/25 SEL 社会性と情動の学習



8/20 全校朝の会(全校ピア・サポート)の様子

課題 全体として高い評価をいただく一方で、**個別の事案**（いじめや人間関係）に対して、生徒や保護者の方が納得できる対応ができていないケースがありましたので、対応の質をさらに高めていきたいと思っております。

今後の取組 年度当初と8月に実施しましたが、改めて全教職員で「いじめに関わる生徒理解研修」を実施し、「上幌向中学校いじめ防止基本方針」をもとに学校としてのいじめ対応を再確認いたします。また、生徒の「もっと異学年と交流したい」という前向きな声に応え、生徒会活動を通じて、生徒が主体的に交流を企画・運営できる機会をさらに増やしていきます。お子様の友人関係などで気になることがございましたら、どんな些細なことでも学校にご相談ください。

【いじめアンケート結果】

学校として特に注目している項目	R6.5月	R7.5月	R6.10月	R7.9月
・今年4月から今日まで、嫌な思いをしたことがありますか？ ⇒「嫌な思いをしたことがある」の回答人数	11.2%	⇒ 4.2%	19.4%	⇒ 5.8%
・嫌な思いをした時、誰に相談しますか？ ⇒「誰にも相談しない」の回答人数	17.7%	⇒ 8.4%	3.2%	⇒ 11.6%

※いじめアンケート以外でも、相談があった2件を「いじめ対策委員会」にて認知し、経過観察を継続しています。

(3) 「開かれた」学校づくり【地学協働】～信頼を「協働」へ～

「学級通信・学校だより・ブログ」などを通じた情報発信は、生徒・保護者から98%を超える支持を得ています。「学校の様子を知ることが安心に繋がる」との声をいただき、学校の透明性を高め、信頼関係を構築する上で大きな役割を果たしていますので、今後も継続していきます。

今年4月から「第二小」「上幌向中」「上幌向地区学校運営協議会」共同での運営となっています。まだご覧になっていない方はこちらから ⇒⇒⇒



課題 現在の関係を基盤に、保護者や地域が「協力」から一歩進んで「協働」する関係へと発展させていくことができるよう取り組んでいきたいと思います。

今後の取組 学校運営協議会との連携を強化し、例えば「自転車の危険な乗り方」といった地域の課題について、学校・家庭・地域が一体となって指導にあたるなど、「地学協働」の具体的な取組に繋げてまいります。地域の皆様には、登下校中の生徒たちの様子を温かく見守っていただき、気になる点がございましたら学校までお知らせいただきますようお願いいたします。

令和7年 上幌向中学校		秋 10月			春 5月			
		肯定回答		否定回答	肯定回答		否定回答	
ASSESS 質問項目		あてはまる ややあてはまる	どちらでもない	あまり あてはまらない	あてはまる ややあてはまる	どちらでもない	あまり あてはまらない	
生活	5	まあまあ、自分に満足している	38.7%	37.1%	24.2%	46.3	22.4	31.3
生活	12	気持ちがすっきりとしている	37.1%	46.8%	16.1%	47.8	20.9	31.3
生活	16	気持ちが楽である	51.6%	37.1%	11.3%	62.7	11.9	25.4
生活	22	自分のはびのびと生きていると感じる	66.1%	21.0%	12.9%	77.6	6.0	16.4
生活	31	生活がすごく楽しいと感じる	66.1%	24.2%	9.7%	71.6	9.0	19.4
教サポ	2	担任の先生は、私のことをわかってきている	85.5%	14.5%	0.0%	77.6	1.5	20.9
教サポ	10	担任の先生は、私のことを気にしてくれている	74.2%	25.8%	0.0%	80.6	0.0	19.4
教サポ	18	担任の先生は、信頼できる	87.1%	11.3%	1.6%	85.1	1.5	13.4
教サポ	26	担任の先生は、困ったときに助けてくれる	83.9%	16.1%	0.0%	85.1	1.5	13.4
教サポ	34	担任の先生は私のいいところを認めてくれている	83.9%	14.5%	1.6%	79.1	0.0	20.9
友サポ	7	嫌なことがあったとき、友だちは慰めたり励ましたりしてくれる	80.6%	17.7%	1.6%	86.6	3.0	10.4
友サポ	14	「いいね」「すごいね」と言ってくれる友だちがいる	84.1%	12.7%	3.2%	91.0	0.0	9.0
友サポ	20	悩みを話せる友だちがいる	76.2%	15.9%	7.9%	86.6	7.4	6.0
友サポ	24	元気がないとき、友だちはすぐ気づいて、声をかけてくれる	61.3%	30.6%	8.1%	68.7	22.3	9.0
友サポ	29	友だちは、私のことをわかってきている	75.8%	21.0%	3.2%	85.0	3.0	12.0
同社会	1	あいさつは、みんなにしている	62.9%	17.7%	19.4%	76.0	12.0	12.0
同社会	6	落ち込んでいる友だちがいたら、その人を元気づける自信がある	46.8%	35.5%	17.7%	53.7	16.4	29.9
同社会	17	困っている人がいたら、進んで助けようと思う	71.0%	22.6%	6.5%	83.6	1.5	14.9
同社会	25	友だちや先生に会ったら、自分からあいさつをしている	58.7%	20.6%	20.6%	68.6	10.5	10.9
同社会	33	相手の気持ちになって考えたり行動する	72.6%	21.0%	6.5%	71.6	4.5	23.9
非侵害	8	仲間に入れてもらえないことがある	91.9%	8.1%	0.0%	86.5	4.5	9.0
非侵害	13	陰口を言われているような気がする	71.4%	19.0%	9.5%	53.7	16.4	29.9
非侵害	19	友だちからからかわれたり、バカにされることがある	84.1%	14.3%	1.6%	82.1	3.0	14.9
非侵害	23	友だちにいやなことをされることがある	85.7%	9.5%	4.8%	83.5	7.5	9.0
非侵害	28	友だちから無視されることがある	90.5%	7.9%	1.6%	88.1	4.5	7.4
学習	4	勉強のやり方がよくわからない	40.3%	25.8%	33.9%	56.7	22.4	20.9
学習	11	自分は、勉強はまあまあできると思う	38.1%	23.8%	38.1%	46.2	26.9	26.9
学習	15	勉強の問題が難しいとすぐにあきらめてしまう	51.6%	21.0%	27.4%	59.7	46.4	23.9
学習	21	授業がよくわからないことが多い	50.0%	24.2%	25.8%	64.2	14.9	20.9
学習	30	勉強についていけないのではないかと不安になる	38.1%	14.3%	47.6%	38.8	38.8	22.4

- ①生活満足感：生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示す。
- ②教師サポート：担任(教師)の支援があるとか、認められているなど、担任(教師)との関係が良好であると感じている程度を示す。
- ③友人サポート：友だちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じる程度を示す。
- ④向社会的スキル：友だちへの援助や友だちとの関係をつくるスキルをもっていると感じている程度を示す。
- ⑤非侵害的関係：無視やいじめなど、拒否的・否定的な友だち関係がないと感じている程度を示す。
- ⑥学習的適応：学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示す。

【Hyper-QUの結果】R6 秋→R7 春

R6秋	満足群	非承認群	侵害認知群	不満足群	要支援	R7春	満足群	非承認群	侵害認知群	不満足群	要支援
現2年	47%	21%	11%	21%	0名	2年	52%	14%	19%	15%	0名
現3年	64%	5%	17%	14%	0名	3年	66%	4%	17%	13%	0名
						全国	41%	18%	13%	28%	

皆様からのご意見と学校からの回答

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見・ご感想に心より感謝申し上げます。すべてのご意見を掲載し、今後の学校運営の参考にさせていただきます。

【保護者の皆様からのご意見・ご感想】

- 比べるよし悪しありますが、上幌向中学は他校より生徒数は少ない分、先生方が一人一人向き合ってくれているように感じます。上級学校訪問や職場体験もマンモス学校では難しい事ですので、今後も楽しみにしています。ただ、グローバル化や熊問題など先生方で防ぎきれないであろうエリアでの課外活動は慎重になるべきとも思います。真夏の江別実習も時期を見定める必要があったかもしれません。生徒数も少ないのでお祭りみたいに屋台とか出して振る舞うとかも面白いかもしれませんね。
昔から変わらず暖かい学校です。



- 息子は、生徒会に関わることができ、やりがいを感じているようにみえました。大きな成長だと思っています。失敗もあれば自信に繋がったこともあったようで、自主性を第一に辛抱強く支援してくださる先生方には、いつも大変感謝しております。また、常に新しい情報を発信していただき、日常の学校の様子を知ることが安心へとつながっています。

- いつも子どもの様子を見守っていただきありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。

- 家庭での様子や気になることなどについて、話しやすい環境が整っており、少人数ならではの細やかな配慮をいただいております。子どもを安心して預けられています。ありがとうございます。



- 良いと思っています。

- 学校の先生が変なあだ名で呼ばれている子がいるとわかっているのに注意だけで終わらせていることにガッカリしました。…「やめる」ではなく、「どうしてやってはいけないのか」を根気よく教えてほしいと願います。…向き合ったけどダメだったならいいのですが、問題を見逃すことだけはしてほしいです。難しい問題でいつの時代も差別やいじめはあるのが当たり前なのでどうしようもないのですが、諦めずに「どうしてそれをやるのか、どうしてそれをやってはいけないのか」を教えてほしいと願っています。大変なことですがよろしくお願いします。私も家庭では理由を教え続けていきます。お互いに頑張りましょう。

- 子供達の事をよく見ていてくれると思います。

- 先生と生徒の距離が近い所が良いと思います。

- 先生方が素晴らしい。ありがとうございます。生徒数が少ないがとても良い学校だと思います。娘はよく先生達のお話を楽しそうに、家で話してくれます。

- 弟のためにどうか、どうかバスケ部を作って欲しいです。

- いつもブログを楽しく拝見しております。これからも色々な写真がアップされるのを楽しみにしています。



- いつもお世話になっております。自転車の乗り方ですが、危ない乗り方をしているのを見かけます。来年から自転車のルールも厳しくなるようなので家でも再度確認はしますが学校でももう一度乗り方について指導をしていただきたいです。よろしくお願いします。

多数の温かいお言葉をありがとうございます。励みになります。ご意見ご要望に対しての学校としての回答は次ページに記載しております。

【生徒の皆さんからのご意見・ご感想】

- 水筒の代わりにペットボトルを持って行きたいです
- 生徒会主催で学年交流のできる行事を頻繁に行えること。ただ生徒会レクでは、私の理解力が低すぎるあまり企画内容をよく理解できなかったので、馬鹿でもわかるようにより丁寧に説明してほしいです。
- 自主性が尊重されるいい学校だと思います
- いじめが無い
- 先輩方が優しく接してくれる。
- 良い点→いじめが少ない点 改善点→他学年と交流する機会は設けられているものの、そこで親睦を深めることができていない点。
- 他学年との交流が多いのが良い。
- (良い)生徒会レクや全校朝の会など他学年と関わる行事があるところ(改善)これらを毎月、または毎週行ってほしい
- 座席が円形になって授業中も話しやすくなった。ただ、自分から動いたり発言したりする人があまり多くないので、自分も含めて改善したい。
- 良い点～他学年との関わりが多いこと
- 明るいところ
- 人数が少ないから他の学年との交流が多い
- 小規模校なのでレクがしやすい



【ご意見・ご要望に対する学校からの回答】

- ★「学校の先生が変なあだ名で呼ばれている子がいるとわかっているのに注意だけで終わらせていることにガッカリしました。『やめる』ではなく、『どうしてやってはいけないのか』を根気よく教えてほしいと願います。」のご意見について

ご指摘をいただきありがとうございます。本件につきましては、学校の「いじめ対策委員会」において「いじめ」と認知し、関係生徒への指導とご家庭への連絡を行っております。現在は、不快なあだ名で呼ぶ行為は見られず、経過観察を続けている状況です。ご指摘の通り、「なぜいけないのか」を相手の気持ちを考えさせながら粘り強く指導することが教育の根幹であります。今後も、全教職員で人権意識を高め、すべての生徒が安心して学校生活を送れるよう、丁寧な指導を徹底してまいります。

- ★「弟のためにどうか、どうかバスケ部を作って欲しいです。」のご意見について

部活動へのご期待、ありがとうございます。現在、国の方針として部活動の地域展開が進められており、学校が新たに部を創設することは難しい状況にあります。また、バスケットボールは市内でクラブチーム化が進んでおり、多くの中学生がそちらで活動しています。ご興味がありましたら、地域のクラブチームの情報を学校から提供することも可能ですので、ご相談ください。

- ★「自転車の乗り方ですが、危ない乗り方をしているのを見かけます。」のご意見について

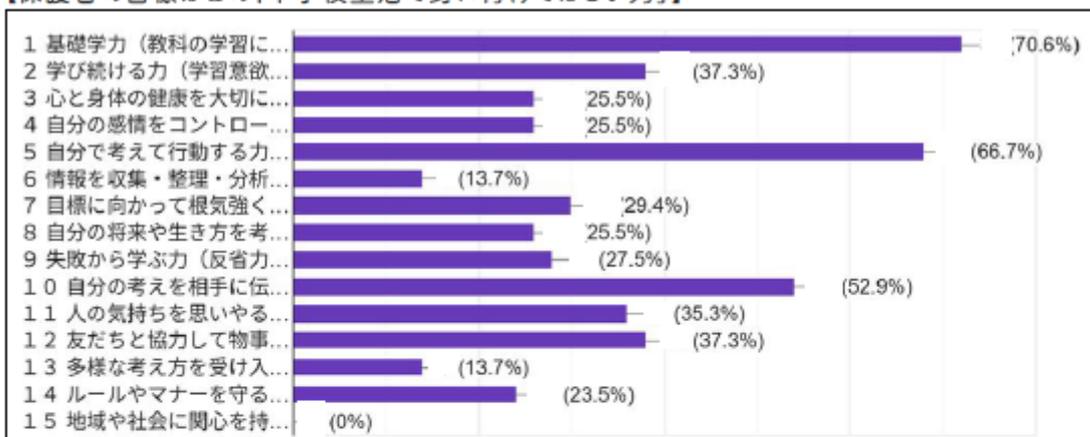
貴重な情報提供に感謝いたします。今年度の自転車通学は終了しましたが、全校集会の際に再度校外生徒指導担当の方から交通ルール遵守の指導を行います。また、自転車通学が始まる前には、毎年警察の方による交通安全講話の実施を計画しており、改めて全校生徒に安全な自転車利用について徹底してまいります。地域全体の安全を守るため、今後ともご協力をお願いいたします。

- ★「真夏の江別実習も時期を見定める必要あったかもしれませんね。」のご意見について

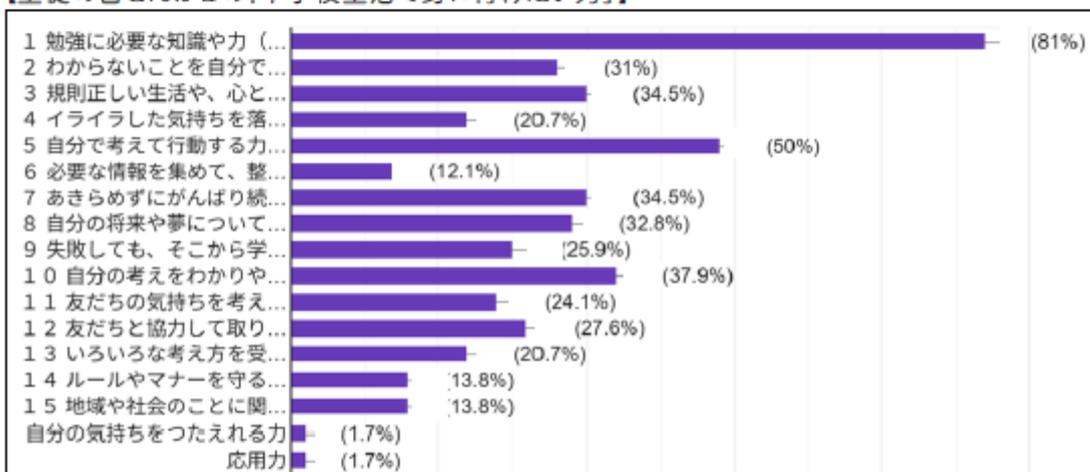
ご指摘の通り、今年度の実習は気温が高い時期の実施となり、生徒の健康面で配慮すべき点がありました。この件については、行事後の反省会議で協議し、次年度からは気候が穏やかな春か秋に実施する方針を決定いたしました。今後も、生徒が安全かつ効果的に学習活動に取り組めるよう、行事の計画・運営を見直してまいります。

学校評価アンケート質問13 中学校生活で「身に付けてほしい力」「身に付けたい力」

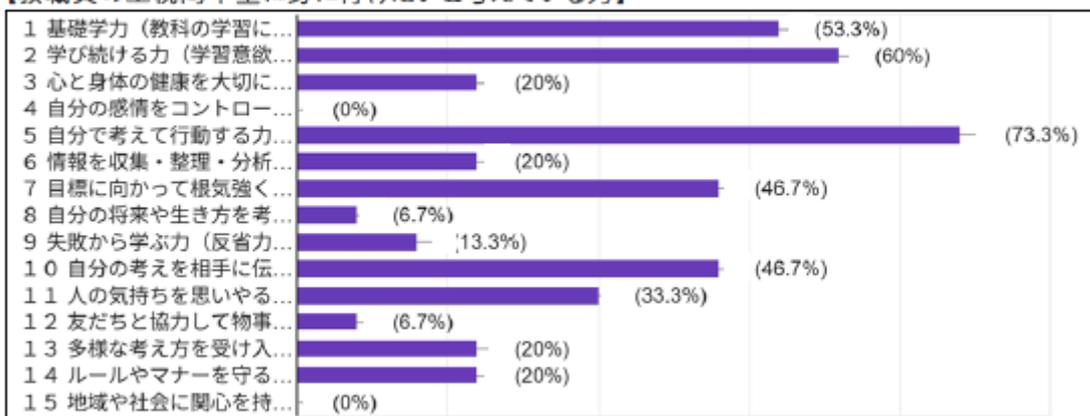
【保護者の皆様からの「中学校生活で身に付けてほしい力」】



【生徒の皆さんからの「中学校生活で身に付けたい力」】



【教職員の上 梶向 中生に身に付けたいと考えている力】



「基礎学力」(教科の学習に必要な知識・技能)、「自分で考えて行動する力」(主体性・自律性)、「自分の考えを相手に伝える力」(コミュニケーション力・表現力)は、三者の共通している願いであることから今後の“育成を目指す資質・能力”となります。これらの力の育成を目指し、教育活動のさらなる充実に努めてまいります。今後も、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。